

## 2016年度第1回京都競馬特別レース名解説

### <第1日>

#### ○ 初夢ステークス

初夢（はつゆめ）は、新年になって初めて見る夢。「一富士・二鷹・三茄子」を初夢に見ると縁起が良いとされている。

#### ○ 万葉ステークス

万葉（まんよう）は、現存する最古の和歌集である『万葉集』の略称。編者、成立年代とも不明であるが、大伴家持が編纂に携わったとされる。仁徳天皇期から淳仁天皇期までの短歌・長歌・旋頭歌など約4,500首が収録されている。代表的歌人は額田王・山部赤人・山上憶良。また、「防人の歌」や「東歌」など庶民の歌も含まれている。

#### ○ スポーツニッポン賞京都金杯（GⅢ）

本競走は、昭和38年に創設された『迎春賞』を前身とする重賞競走。41年に『スポーツニッポン賞金杯』と改称するとともに、別定重量となった。その後、56年にハンデ戦となり、平成8年から東西で行われる金杯を区別するため、現在の競走名に改称された。また、12年には距離が2000mから1600mに短縮された。

スポーツニッポン新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて施行されている。

### <第2日>

#### ○ 舞鶴特別

舞鶴（まいづる）は、京都府北部の市。幕末までは田辺城の城下町として、明治以降は旧日本海軍の軍港として栄えた。海岸は若狭湾国定公園に含まれ、入江と岬が織りなす天然の造形美が雄大に広がる。

#### ○ 寿ステークス

寿（ことぶき）は、祝うべき事柄。また、祝いの言葉や儀式のこと。

#### ○ 淀短距離ステークス

淀（よど）は、京都市南西端、伏見区の地名。名は、川の水が淀むことに由来する。宇治川・桂川・木津川の合流点付近を占め、旧河床や自然堤防を利用した野菜栽培が盛んであったが、近年は急速な宅地化が進んでいる。

### <第3日>

#### ○ 北大路特別

北大路（きたおおじ）は、京都市街地北部を東西に走る幹線道路。東は白川通りから西は金閣寺前に至る。沿道には、大徳寺や船岡山公園などがある。烏丸北大路は、バスターミナルや地下鉄の駅があり、京都市北部の交通の拠点となっている。

#### ○ 羅生門ステーキス

羅生門（らしょうもん）は、平安京の大門、羅城門（らじょうもん）の後世の当て字。羅城門は、条坊都市の中央を南北に貫いた朱雀大路の南端に構えられた門で、北の朱雀門と相對する。芥川龍之介の短編小説の題としても有名。

#### ○ 日刊スポーツ賞シンザン記念（GⅢ）

本競走は、シンザン号の栄誉を称え昭和42年に創設された重賞競走。同馬は、39年にセントライト号以来23年ぶり、日本競馬史上2頭目の三冠制覇という偉業を達成し、翌年には秋の天皇賞と有馬記念も制して五冠馬の称号を得た。引退後も種牡馬として活躍し、59年に顕彰馬に選出された。

日刊スポーツ新聞社は、北海道・東京・愛知・大阪・福岡に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて施行されている。

### <第4日>

#### ○ 福寿草特別

福寿草（ふくじゅそう）は、キンポウゲ科の多年草。旧暦の正月頃に咲き出すことから別名「元日草」と呼ばれる。日本、東シベリアなどに自生し、多くの品種がある。黄色で直径約4cmの花が頂生する。花言葉は「幸福」「幸運を招く」。

#### ○ 新春ステーキス

新春（しんしゅん）は、新年、正月の別称。昭和29年に国営競馬が日本中央競馬会へと移管されて以来、現存する最も古い競走名の1つ。

#### ○ 大和ステーキス

大和（やまと）は、奈良県全域を占める旧国名。五畿内の1つで、飛鳥京・藤原京・平城京などの都が置かれ、室町時代初期までは寺社が大きな勢力を誇っていた。明治9年に堺県（現在の大阪府堺市）と合併し、20年に奈良県として分離した。日本の異称としても用いられる。

## <第5日>

### ○ 白梅賞

白梅（しらうめ）は、白色の花をつける梅。梅は、中国原産のバラ科の落葉高木。花は早春、葉に先立って開き、白色、淡紅色の五弁または重弁で芳香がある。果実は球形の核果で酸味が強く、梅干しや梅酒に加工される。花言葉は「気品」「忍耐」。

### ○ 花見小路特別

花見小路（はなみこうじ）は、京都市東山区北西部にある通りの呼称。北は三条通りから南は安井北門通りまでの小路を指す。祇園歓楽街の中心を貫き、四条通より南側の沿道は石畳で舗装され、「都をどり」の行われる歌舞練場やお茶屋、町家などが立ち並ぶ。

なお、同通り沿いには **JRA** の場外勝馬投票券発売所であるウインズ京都がある。

### ○ 雅ステークス

雅（みやび）は、宮廷風であること、上品で優美なこと。俚（さと）びに対する語。江戸時代の国学者本居宣長は、平安時代の和歌、物語を含む古代文化の中心にあるものを「みやび」と呼んだ。

## <第6日>

### ○ 五条坂特別

五条坂（ごじょうざか）は、清水寺への参道の1つ。途中で清水新道（茶わん坂）と呼ばれる道と分岐する。かつては清水焼の窯元が数多くあり、現在でも道沿いには陶器店が軒を連ねている。

### ○ 紅梅ステークス

紅梅（こうばい）は、紅色の花の咲く梅。『源氏物語』第四十三帖の巻名でもある。梅は、中国原産のバラ科の落葉高木。300種類以上の品種があり、大別して野梅系・緋梅系・豊後系がある。花言葉は「忠実」「優美」。

## ○ 日経新春杯（GⅡ）

本競走は、昭和 29 年に『日本経済新春杯』として創設された重賞競走。54 年に現在の競走名に改称された。56 年から平成 5 年までは別定重量で施行されていたが、6 年に負担重量がハンデキャップに変更され、現在に至っている。

日本経済新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて施行されている。

## <第 7 日>

### ○ 祇園特別

祇園（ぎおん）は、京都市東山区八坂神社（祇園社）およびその周辺の地名。門前町として発展し、花街としても知られる。現在でも、町家や石畳の風情が残る京都観光の中心地の 1 つとして親しまれている。

### ○ 若駒ステークス

若駒（わかごま）は、若い馬のこと。本競走は、春のクラシック戦線を占う一戦としても知られる。

### ○ 太秦ステークス

太秦（うずまさ）は、京都市北西部、右京区東部の地名。国宝第一号で有名な『弥勒菩薩半跏思惟像』が安置されている真言宗御室派の広隆寺は「太秦のお太子さん」として親しまれている。

## <第 8 日>

### ○ 睦月賞

睦月（むつき）は、陰暦一月の異称。睦び月とも言う。

### ○ 山科ステークス

山科（やましな）は、京都市東部の区名。昭和 6 年に京都市へ編入。古くから大和と近江を結ぶ交通の要地で、平安京の近郊農村として瓜、茄子、染料用の茜栽培などが盛んであった。藤原鎌足創建の山階寺（やましなでら）跡・天智天皇陵・本願寺跡・勸修寺（かじゅうじ）など史跡が多い。

## ○ 石清水ステークス

石清水（いわしみず）は、石清水八幡宮の略称。石清水八幡宮は、京都府八幡市にある旧官幣大社。都からみて裏鬼門に位置しており、鬼門に位置する比叡山延暦寺とともに都の守護、国家鎮護の社として崇敬を受けてきた。